

基本目標1 田原本町に住み続けることができる働く場を創る															
数値目標・実績															
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 (R3)	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針	主担当 部局	担当課		
町内事業所従業員数	11,916人	—	11,167人	11,167人 (H28)	11,167人 (H28)	11,167人 (H28)	11,682人	11,167人 (H28)	C: やや計画より遅れている	数値は経済センサスH28年調査結果による。 工業ゾーンの創出等の取り組みの結果、IC周辺等において工場や倉庫等の立地に向けた手続きや用地交渉が進んでおり、今後雇用の創出が期待される。	県や金融機関等と連携し、引き続き企業誘致を進め、雇用の創出に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課		
誘致企業数	7件 (延べ件数)	8件 (延べ件数)	8件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	15件 (延べ件数)	11件 (延べ件数)	C: やや計画より遅れている	奨励金制度の申請が数は伸びていないが、工業ゾーンの創出等の取り組みの結果、IC周辺等において企業の立地は進んでいる。	都市計画、農政係と連携し、引き続き企業誘致に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課		
商工会加盟事業者数	578人	568人	549人	550人	535人	536人	508人	547人	A: やや計画以上に進んでいる	町内事業者の実情に沿った支援が、コロナ禍において再評価され、加盟者増につながった。	商工会を通じて事業者のニーズに合った適切な支援を継続的に実施していく。	産業建設部	地域産業推進課		
施策	K P I														
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針	主担当 部局	担当課	
(1) 事業者にとって魅力的なまちにする	①雇用創出の視点からの企業誘致、中小企業支援	中小企業資金融資件数	41件	44件	45件	43件	52件	32件	50件	7件	D: 計画より遅れている	利用者は堅調に推移したが、新型コロナウイルスの影響によりセーフティネットの利用が進んだことから、近年の新規利用は減少した。	R2年度より新規創業者も利用可能としており、スタートアップ支援に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課
	②都市の生活利便性向上の視点からの商業活性化														
	③都市魅力向上の視点からの駅前活性化														
(2) 資源を最大限に活かした産業を育む	①農業の担い手の育成・支援	新規就農者数 (延べ人数)	4人	6人	7人	7人	8人	8人	10人	8人	B: 計画通り	毎年1~2名の新規就農者を確保しているが、新規就農者の営農条件にあった農地を探すことが課題。	地域の担い手の育成のため、引き続き、新規就農者の確保に向けて取り組む。	産業建設部	地域産業推進課
		集落営農組織数	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	1組織	2組織	1組織	B: 計画通り	農業を効率化するために、集落営農化することは有効であるが、地区内の意見を集約するリーダーが不足している。	農業の効率化を図るためには、集落営農化することは有効であるので、引き続き、集落営農化を進めていく。	産業建設部	地域産業推進課
	②農産物の高付加価値化	農業制度資金活用件数	3件	5件	5件	6件	7件	9件	10件	11件	B: 計画通り	農業経営を拡大したい時に設備投資等が行いやすくなるなど、意欲ある農家の経営基盤の強化に役立っている。	農業経営を行っていく上で、設備投資等を行いやすくするよう、引き続き、制度資金の活用に向けた取組を行う。	産業建設部	地域産業推進課

施策	K P I											主担当 部局	担当課		
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)			第2期 (R4~R8) の 取組方針	
		推進する作物の耕作面積	0.5ha	0.5ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.9ha	1.5ha	0.9ha	C: やや計画より遅れている	味間いもは、連作障害が起こることから、生産地の確保が難しく、生産量の確保が課題である。	引き続き、味間いもの生産拡大に向けて取り組む。	産業建設部	地域産業推進課
(3) まちのブランド化につながる産業を育む	①大和野菜等、ブランド力の高い野菜の生産の促進 ②農畜産物・特産品の周知	県で認定された大和野菜の生産品目数	1件	1件	1件	1件	1件	1件	2件	1件	C: やや計画より遅れている	現在、認定を受けている味間いものPRIに力を入れており、加工品の販売を行っている。新たな伝統野菜認定のために、農産物の歴史的背景などの要件を調査する必要がある。	引き続き、認定を受けている大和野菜のPR活動を行い、ブランド力の強化に取り組むとともに、新たな伝統野菜の抽出に努める。	産業建設部	地域産業推進課
		ふるさと応援寄付金返礼品登録件数	—	—	—	—	107件	208件	300件	247件	B: 計画通り	徐々に登録件数を伸ばしているが、寄附額増に向け、継続して取り組んでいくことが必要。	引き続き、登録促進に取り組むほか、平均寄附単価の増に向け、高額返礼品の登録を図る。	産業建設部	地域産業推進課
	③唐古・鍵遺跡等の歴史資源を活用したブランドづくり	「楼閣くん」の商標利用件数(累計)	—	—	11件	54件	57件	68件	66件 (延べ件数)	72件	A: やや計画以上に進んでいる	令和2年度は、行政機関等の使用が3件、民間の使用が1件であった。	町公式キャラクターと「楼閣くん」との棲み分けや、唐古・鍵遺跡ロゴマークの周知を行い、利用を促す。	教育委員会	文化財保存課

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標 2 田原本町への新しいひとの流れをつくる															
数値目標・実績															
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 (R3)	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針	担当部署	担当課		
社会増減数 (転入者数-転出者数)	△183人	△53人	△97人	△58人	△6人	43人	△41人	91	A: やや計画以上に進んでいる	H29年度より50人程度の増加が続いている。	新たな目標値を設定し、引き続き人口増に結び付けような施策に取り組む。	町長公室	企画財政課		
観光入込客数	19,116人	18,133人	18,140人	9,056人	407,386人	380,421人	422,000人	285,544	C: やや計画より遅れている	道の駅、史跡公園およびミュージアム、スケートボード場などの集客施設がオープンし、飛躍的に観光客が増加した。	令和2年に設立された一般社団法人田原本まちづくり観光振興機構と連携し、観光商品や特産品の開発などを進め、観光客増につながるコンテンツの整備を進める。	産業建設部	地域産業推進課		
施策	K P I												担当部署	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針			
(1) 若い世代が定住しやすい住環境を整備する	①定住支援補助制度の促進 ②空き家となった住宅の利活用の促進 ③大阪都心のベッドタウンという強みを生かした定住促進	定住支援に伴う補助認定世帯数 (延べ世帯数)	—	—	—	—	3世帯	20世帯	13世帯	A: やや計画以上に進んでいる	チラシ等の広報効果もあり想定以上に申請があった。又、この制度があるので田原本町に移住された方が増えてきており、今後、更なる周知の拡大に努める。	定住支援制度を引き続き継続的に取組んで行く。	産業建設部	まちづくり建設課	
(2) 豊かな歴史資源を活用する	①唐古・鍵遺跡史跡公園、ミュージアムの充実	唐古・鍵遺跡史跡公園の来場者数	—	—	—	—	54,422人	116,134人	45,000人	69,342人	A: やや計画以上に進んでいる	4~6月に新型コロナウイルス感染症対策のため休園したが、その後イベントや学校の校外学習に利用され、最終的には目標値を上回った。	学校向けに修学旅行等の誘致をするためのパンフレットを作成し、学校教育での利用を促進をはかる。	教育委員会	文化財保存課
	②田原本町の歴史・文化的な観光資源の魅力を知らせてもらうイベントの実施	唐古・鍵考古学ミュージアム入館者数	9,116人	8,133人	8,140人	4,056人	14,035人	13,278人	12,000人	5,741人	B: 計画通り	4~6月に新型コロナウイルス感染症対策のため休館し、来館者は令和元年度の半分以下となった。	ワークショップ等を充実させることで、来館者増をはかる。	教育委員会	文化財保存課
	③観光客の交通利便性の向上	他自治体や民間などと連携した観光等の歴史イベントの実施回数	2件	4件	4件	5件	5件	5件	5件	5件	1件	C: やや計画より遅れている	周辺自治体と協議会を構成し、イベントや周遊ルート提案など行い、広域観光に取り組んできた。	新型コロナウイルスの状況を注視しながら、状況にあった取り組みを進めていく。	産業建設部
(3) 田原本町の魅力を発信する	①唐古・鍵遺跡史跡公園と連携する道の駅の運営 ②道の駅を活用した田原本町の魅力の発信	道の駅の来場者数	—	—	—	—	262,000人	237,731	400,000人	206,762人	C: やや計画より遅れている	指定管理者である奈良交通株式会社と連携し、イベントの開催や商品構成の見直し、ペーカリーやカフェの新商品開発、SNSを活用した情報発信など、集客に向けた様々な取り組みを進めている。	アフターコロナに向け、旅行会社が実施するバスツアーの誘致に取り組む。令和4年度末に指定管理者の契約期限を迎えるため、適切な事業者を選定し、来場者および売上増に取り組む。	産業建設部	地域産業推進課

施策	K P I											担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)			第2期 (R4~R8) の 取組方針
③町や地域の取り組みの 発信	奈良県広報誌・新聞・フリーペーパー等を活用した 発信件数	14件	18件	60件	103件	131件	144件	142件	136件	B：計画通り	令和2年度の実績は前年度より約5%減となった。 同年度は新型コロナウイルス感染症による悪影響が全国的に及び、感染防止のための各種制限、自粛ムード、イベントの中止など活動規模縮小の傾向が続いたことで、情報発信機会が減少してしまっている。 しかし、報道機関の、行政の取り組みへの関心は今まで以上に高まっており、積極的な情報提供を行っていった結果、前年度実績より減であるが、その減少幅を抑えることができた。 平成26年度から令和2年度にかけて順調に実績を重ねてきているが、今後もこの傾向を維持するためには更なる積極的な情報発信が必要となると考える。	第2期についても引き続き、町や地域の取り組みの発信を行っていく。 新型コロナウイルス感染症による各種制限が今後も続けば、より情報発信機会は減少してしまうと考えられるため、今までの取材で培ってきた人のつながり、道の駅レスティ唐古・鍵や史跡公園、まちづくり観光振興機構との連携による情報の共有・補完はもちろん、町行政の積極的な事業展開も、情報を逃さず発信していきたい。	町長公室	秘書広報課

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる															
数値目標・実績															
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 (R3)	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針	担当課			
合計特殊出生率	1.47	1.27	1.45	1.48	1.51	1.44	1.63	1.44 (R1)	D: 計画より遅れている	全国的な出生率に比べH27年は減少し下回るがH28年から上昇し、微増している。転入が多く、支援が途切れてしまうのが課題である。	田原本町に定住し、安心して子どもを産み育てられるよう子育て支援策の展開を模索する。	住民福祉部	こども未来課		
K P I															
施策	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針	担当課		
(1) 就労・結婚・出産を希望する若者を応援する	①町居住・町出身の若者の就職支援	雇用促進奨励金の交付対象となった従業員数 (累計)	1人	1人	1人	1人	5人	12人 (延べ人数)	6人	C: やや計画より遅れている	奨励金制度の申請が少ないため、本KPIの数値も伸びていないが、企業立地は進んでいることから、パートタイマーを含め、雇用機会は創出されていると考えられる。	引き続き企業誘致を進め、雇用の創出に取り組んでいく。	産業建設部	地域産業推進課	
	②若者世代の活発な交流の促進	新規就農者数 (累計) (再掲)	4人	6人	7人	7人	8人	10人	8人	B: 計画通り	毎年1~2名の新規就農者を確保しているが、新規就農者の営農条件にあった農地を探すことが課題。	地域の担い手の育成のため、引き続き、新規就農者の確保に向けて取り組む。	産業建設部	地域産業推進課	
	③不妊に悩む夫婦への支援	一般不妊治療助成の実施件数	—	—	—	18件	31件	28件	35件	37件	S: 計画以上に進んでいる	不妊治療助成についての周知が広がり、事業利用者が目標値に達した。	令和4年度から不妊治療が保険適用となる為、対象範囲により、町の助成制度について、見直す必要がある。	住民福祉部	こども未来課
(2) 子育て環境の充実をはかる	①子育ての経済的な負担の軽減	多子世帯の保育所利用者数	86人	—	79人	76人	74人	76人	96人	B: 計画通り	町として、第2子無償にするなど、経済的負担軽減策を実施していることもあり、待機児童があり、実際の効果としての吟味は難しい。	待機児童対策に取り組むことを優先課題として、仕事と子育ての両立支援を継続していく。	住民福祉部	こども未来課	
	②保育サービスの充実	地域子育て支援センター利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	③きめ細やかな子育てサポートの実施	—	9,376人	8,484人	6,710人	6,215人	9,217人	8,830人	11,100人	4,807人	C: やや計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症対策として、利用人数を制限し実施しているため、昨年度より利用者数が減少した。	各種講座や個別相談の実施等、利用制限がある中で、子育て世代のニーズに合った支援の方法を検討するなど、きめ細かくで利便性・対応性の高い支援拠点を目指す。	住民福祉部	こども未来課
(3) 田原本町らしい教育環境を創る	①子どもたちの豊かな人間性の育成	町立幼稚園就園率	48.40%	49.03%	48.64%	48.71%	46.12%	47.87%	53.00%	46.41%	C: やや計画より遅れている	保護者の就労形態の変化に伴う、「預かり保育」の充実及び「認定こども園」化。	平野幼稚園に続き、田原本幼稚園を令和3年度より認定こども園として開園。	教育委員会	教育総務課
	②地域・歴史の学びを通じた、子どもたちの地域への愛着の醸成	おはなし会への参加者数	922人	887人	710人	795人	817人	737人	1,000人	443人	D: 計画より遅れている	コロナ感染症拡大以前までは参加者が増え続けていたが、コロナ後はサービス停止の影響もあり、半分に減少している。	おはなし会1回あたりの平均参加人数は1名程度しか下がっていない。このままサービスが途切れないようにコロナの感染拡大を防ぎながら、開催を行っていく。	教育委員会	図書館
	③経済的理由により就学が困難な児童・生徒・保護者の支援	地域・歴史の学び学習実施学年	1学年	1学年	1学年	1学年	2学年	2学年	5学年	6学年	A: やや計画以上に進んでいる	6年生に加え、3年生若しくは4年生を対象に総合的な学習の時間に弥生体験学習を取り入れた。また、6学年で地域・歴史の学び学習を実施している。	目標を達成したので、新たな目標を立てる。	教育委員会	教育総務課

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する														
数値目標・実績														
項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 (R3)	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針	担当 部局	担当 課	
自治会加入率	93%	93%	92%	92%	92%	91%	95%	91%	D: 計画より遅れている	自治連合会の研修や各種補助金の交付等、自治会活動の魅力向上に努めたが、加入率は減少となった。	引き続き、自治会組織・運営を強化し、活動を活性化させ、加入率の増加に向け新規転入者や未加入者への加入を促す。	総務部	総務課	
65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人の割合	84%	84%	84%	84%	84%	84%	88%	84%	C: やや計画より遅れている	高齢化率は右肩上がりであるが、認定率はほぼ変わらず。R2年度は新型コロナウイルスの影響があり通いの場の拡充が難しかった。	引き続き高齢者の健康寿命の延伸、又、介護状態にならないよう介護予防事業を拡充していく。	住民福祉部	長寿介護課	
K P I														
施策	指標名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	直近値 (R2)	進捗 S・A・B・C・D	R2までの総括評価 (成果、課題)	第2期 (R4~R8) の取組方針	担当 部局	担当 課
(1) 地域コミュニティの強化をはかる	①地域課題の解決を図る自治会の育成・支援	4,374件	4,705件	4,644件	4,669件	4,690件	4,230件	5,000件	2,934件	D: 計画より遅れている	新型コロナの影響で施設の利用が減少している。	コロナ対策を継続しながら貸館を行う。	教育委員会	生涯教育課
	②文化やスポーツ等を通じた地域活動の支援	4,583件	4,472件	4,879件	4,757件	4,560件	5,243件	5,000件	4,405件	D: 計画より遅れている	新型コロナの影響で施設の利用が減少している。	コロナ対策を継続しながら貸館を行う。	教育委員会	生涯教育課
(2) 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	①日常的な健康づくりや急病への対応など住民の健康支援	32人	768人	416人	609人	406人	239人	1,040人	185	C: やや計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベント等が中止のため減少した。	介護予防サポーターはいきいき百歳体操への転換のため中止。認知症サポーター養成講座を受けてもらえるよう周知をしていく。	住民福祉部	長寿介護課
	②高齢者が生き生きとした生活を送るための支援	307人	280人	277人	272人	267人	278人	390人	245	C: やや計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規入会者数が減少した。	引き続き退会者数の抑制を図り、会員数増加を目指す。	住民福祉部	長寿介護課
	③防犯・防災体制の強化によるまちの安全の確保	60団体	69団体	73団体	74団体	76団体	76団体	97団体	78団体	C: やや計画より遅れている	未設立の全自治会にヒアリングを行い、設立のための課題が浮き彫りになった。理由としては、活動内容・防災担当者の選出が難しいことが主な理由である。今後は組織の役割と簡易な活動内容発信し、結成数増加を目標とする。	昔から水害が多い地域では防災意識も高いため、設立済みであり、活発に活動している自治会が多い。それ以外の自治会への啓発活動を行っていく。水害だけでなく、地震等の大規模災害の備えの重要性や、共助の減災例等を発信する。	総務部	防災課
	L E D防犯灯への交換率	33%	56%	78%	100%	100%	100%	100%	100%	B: 計画通り	自治会所有防犯灯は蛍光灯からLEDへの交換が終了している。	自治会所有防犯灯は蛍光灯からLEDへの交換が終了している。	総務部	総務課
	タワラモトンタクシー利用実人数	-	-	-	-	2,338人	2,869人	3,000人	2,390	C: やや計画より遅れている	R2は新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えのため減少したと考えられるが、利用者は少しずつ増えている。申請するが利用しない方がいる一方、利用者には必要数が不足している。	真に必要な方が利用できるような制度の内容を見直しながら継続して実施する。	町長公室	企画財政課